

[2 0 2 5 年 度]

纖維製品品質管理士試験

〔Ⅲ〕家庭用纖維製品の流通、消費と 消費者問題に関する知識

◆注 意◆

1. 問題は開始の合図があるまで開かないでください。
2. 開始とともに、解答用紙に氏名と、受験番号(4ヶタ)を記入し、その下の受験番号の数字をマークしてください。
3. 解答用紙は、書き損じても再交付しません。
4. 印刷が不鮮明な場合は申し出てください。ただし、問題に関する質問は一切受け付けません。
5. 解答を書き終えても、また、試験放棄しても試験が終わるまで退室できません。
トイレに行きたくなった場合、あるいは気分が悪くなった場合は、手をあげて監督者に申し出てください。
6. 試験開始後は、参考書籍やテキストなどの使用を禁止します。また、携帯電話や時計型端末など電子機器類の使用も一切禁止します。使用が発覚した場合には、厳正に対処します。
7. 試験終了後は、指示があるまで着席のまま待機してください。
8. 試験中、顔写真と照合のため監督者が回ってきたときには、マスクや帽子などを着用されている場合は外して、顔をあげてください。
9. 試験会場内は禁煙です。

問1 次の記述内 [A] ~ [F] の後ろの（ ）内に示す語句の中から最も適当なものを選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. 消費者の商品の評価方法のうち「客観的評価方法」に含まれるものは [A] (1. ブランド型
2. 規範型 3. 補償型) である。
- II. 「消費性向 (%)」は、消費支出を [B] (1. 可処分所得 2. 年収 3. 貯蓄) で割って 100を掛けた数値である。
- III. コープランドの商品分類にしたがうと「ファッション衣料」は、[C] (1. 最寄り品
2. 買い回り品 3. 専門品) に含まれる。
- IV. 性別や年代などのいくつかの基本的属性について、母集団の構成比に合わせて 標本の構成比を決め、その比率にしたがって標本を有意抽出する方法を、 [D] (1. 多段抽出法 2. クオータ抽出法 3. 層別抽出法) という。
- V. 調査対象者の人口統計学的な属性を、[E] (1. ジオグラフィック 2. デモグラフィック
3. サイコグラフィック) 属性という。
- VI. 回収した調査票について、その結果が正しく記入されているかを点検して修正することを、 [F] (1. エディティング 2. コーディング 3. ワーディング) という。

問2 次の記述内 [A] ~ [G] の後ろの（ ）内に示す語句の中から最も適当なものを選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. 文章の一部を示して、そこから自由に文章を補足完成させる方法を、[A] (1. 言語連想法
2. 文章完成法 3. 自由回答法) という。調査対象者に対して言語、絵画、写真などの 刺激を与えて、その刺激に対する反応を分析して、間接的に意識内容を探り出す方法を、 [B] (1. 面接法 2. 観察法 3. 投影法) という。
- II. マズローによる「欲求の階層理論」において最も「高次」にあるものは、[C] (1. 自己承認欲求 2. 自己満足欲求 3. 自己実現欲求) である。
- III. 信頼性の高い調査とは、調査結果の [D] (1. ばらつき 2. 標本数 3. 母集団) が 小さく、その回答の [E] (1. 慎意性 2. 再現性 3. 偏向性) が高い調査である。

- IV. 互いに反対を意味する言葉の対を10~20対程度用意して回答させる調査手法を、
〔F〕（1. 評定尺度法 2. 多項肢選択法 3. SD法）といい、5段階や7段階の
〔G〕（1. 間隔尺度 2. 二項肢選択法 3. 順序尺度）を用いて評定する。

問3 次のA~Gの記述の下線部分について、①②の両方が正しい場合には『1』、①が正しく②が誤っている場合には『2』、①が誤っていて②が正しい場合には『3』、①②の両方が誤っている場合には『4』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①商品選択にあたって、一般的に消費者の「関与」が高い商品の典型例として「買い回り品」がある。
②商品選択にあたって、一般的に消費者の「関与」が低い商品の典型例として「最寄り品」がある。
- B. ①「流行」の商品をシーズンに先駆けて購入し、他者に影響を与える消費者を、オピニオンリーダーという。
②「流行」の商品をシーズンの終わりに近い時期に購入する消費者を、フォロワーという。
- C. ①価格弾力性 η (イータ) の値は、価格の上昇よりも需要の増加が著しい場合は、 $\eta = 1$ に近くなる。
②価格弾力性 η (イータ) の値は、価格が変化しても需要が変化しない場合は、 $\eta < -1$ になる。
- D. ①消費者行動の要因としての「社会的要因」には、「流行」も含まれる。
②消費者行動の要因としての「社会的要因」には、友人などの個人からの影響は含まれない。
- E. ①消費者の個人要因としてのフローには、個人が支出する家賃が含まれる。
②消費者の個人要因としてのストックには、個人が所有する有価証券が含まれる。
- F. ①母集団平均と標本平均の隔たりが小さい状態を、分散が小さいという。
②標本平均の周りに個々の結果が集中している状態を、偏りが小さいという。
- G. ①確率比例抽出法の1次抽出単位は、母集団における構成比率に比例した大きさで抽出する。
②確率比例抽出法の2次抽出単位は、1次抽出単位の各々の構成比率に比例した大きさで抽出する。

問4 次のI～IIIの記述の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

I. 「医薬品医療機器等法」の規制対象品目は、医薬品・医薬部外品・（ A ）・医療機器および再生医療機器等製品である。2021年8月には課徴金制度が追加され、違反行為を行った期間を対象に、該当する製品の売上高の（ B ）を徴収される。

[語群]

1. 医療行為 2. 化粧品 3. 健康食品 4. 3.0 % 5. 4.5 % 6. 5.0 %

II. 2000年5月、消費者と事業者の間にある情報の質・量の違いや（ C ）により、消費者被害が拡大することを防止するために制定された法律が、（ D ）である。

[語群]

1. 経済力の格差 2. 交渉力の格差 3. 行政による指導 4. 「消費者保護基本法」
5. 「独占禁止法」 6. 「消費者契約法」

III. クリーニングにおける石油系溶剤の残存による皮膚障害を（ E ）といい、（ F ）により、重大事故として消費者庁安全課への届出義務がある。

[語群]

1. 洗剤中毒 2. 化学やけど 3. 「消費生活用製品安全法」 4. 「消費者安全法」
5. 「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」

問5 次のA～Gの記述の下線部分について、①②の両方が正しい場合には『1』、①が正しく②が誤っている場合には『2』、①が誤っていて②が正しい場合には『3』、①②の両方が誤っている場合には『4』を解答記入欄にマークしなさい。

A. ①特定芳香族アミンに関して、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」の所管官庁は、厚生労働省と消費者庁の共管である。
②還元分解により特定芳香族アミンを生成する染料の種類は、硫化染料である。

B. ①商品の比較テストは「知らされる権利」の実現に有効なため、日本では主に自治体による情報提供が拡大している。
②消費者視点で商品を評価する商品テストは、情報提供型消費者運動の一環として日本で生まれたものである。

- C. ①「不当景品類及び不当表示防止法」の主官庁は、2009年の法改正により消費者庁から公正取引委員会に移管された。
②「不当景品類及び不当表示防止法」の広告規制は商品の表示に関する規制であり、サービス（役務）に対する価格表示には適用されない。
- D. ①「医薬品医療機器等法」の誇大広告規制は、効能、効果に関する規制であり、商品名や価格ほかの取引条件には規制を受けない。
②承認された医療機器の広告は、医師等の専門家によるものであっても規制を受ける。
- E. ①表示規則や表示ルールにしたがって表示しなければならない法律として、「家庭用品品質表示法」がある。
②不当な表示や行き過ぎの表示を規制する法律には、「不当景品類及び不当表示防止法」がある。
- F. ①イタリア製の生地を用い中国で縫製した製品を、イタリア製と表示して販売することは、不当表示にあたる。
②外国製の品質が劣る製品のタグを、日本製の表示に付け替えて販売することは、有利誤認のおそれがある。
- G. ①マフラーの取扱い表示を下げ札のみで行うことは、法律に適している。
②Tシャツの取扱い表示を本体へのシール貼付けのみで行うことは、法律に適している。

問6 次の記述内 [A] ~ [G] の後ろの（ ）内に示す語句の中から最も適当なものを選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. 「消費生活用製品安全法」において重大製品事故が起きた場合、製造・輸入事業者は、事故発生を知った日から [A]（1. 8日以内 2. 10日以内 3. 15日以内）に内閣総理大臣への報告が義務付けられている。内容により重大な危害の発生および拡大を防止することが必要であると認められたときは、[B]（1. 消費者庁 2. 製品評価技術基盤機構（NITE） 3. 厚生労働省）から公表される。
- II. 「消費者契約法」では、事業者がわざと重要事項を告げないなど不利な契約に対して無効にすることができる、[C]（1. 損害請求権 2. 団体訴訟権 3. 取消権）が与えられている。訪問販売など特に消費者とトラブルを生じやすい取引に対しては、[D]（1. 「特定商取引法」 2. 「消費者教育の推進に関する法律」 3. 「公正競争規約」）にクーリング・オフ制度が定められている。

- III. 「消費者保護基本法」は、化学物質等や製品の大量生産により〔E〕（1. 物流問題 2. 価格競争 3. 公害問題）が発生し、消費者への生命・身体被害が問題化した1960年代に制定された。
- IV. 欠陥商品や公害問題に対して企業活動を監視して、問題があれば当該企業を訴訟するという企業との対決型の消費者運動を、〔F〕（1. 情報提供型消費者運動 2. 告発型消費者運動 3. 消費者協同型運動）といい、日本では、企業への公開質問状などを通じて企業の不正を暴いた〔G〕（1. 日本消費者連盟 2. 主婦連合 3. 生活協同組合）が、この運動類型の主体といえる。

問7 次の〔A〕～〔J〕の後ろの（ ）内に示す語句の中から最も適当なものを選び、解答記入欄の数字にマークしなさい。

- I. 2021年度の日本の化学繊維のミル消費量が最大なのは、衣料用途、家庭用途、産業用途のうち、〔A〕（1. 衣料用途 2. 家庭用途 3. 産業用途）である。
- II. 「家計調査」における1人当たりの被服費の支出金額を、34歳以下の層でみると女性は男性より2019年で、〔B〕（1. 約1.5倍 2. 約2.0倍 3. 約2.5倍）となっている。
- III. 「家計調査」において、衣料が含まれる被服及び履物支出は、〔C〕（1. 選択的支出 2. 必需的支出 3. 基礎的支出）である。
- IV. 世界の繊維原料需要で、合成繊維の伸びが著しいのは、〔D〕（1. アジア 2. 北米 3. ヨーロッパ）を中心とした合成繊維への設備投資が大きい地域である。
- V. 合計特殊出生率の人口が減少する人口置換水準は、〔E〕（1. 1.97 2. 2.07 3. 2.17）である。
- VI. 受注先の商品企画に基づいて、生産部門を請け負うアパレル生産企業を、〔F〕（1. 受注加工型生産企業 2. 協力工場型生産企業 3. SPA型生産企業）という。
- VII. DCブランドのビジネスは、各企業が直営店方式と〔G〕（1. MD方式 2. FC方式 3. D to C方式）を併用して多店舗展開することで発展した。

- VIII. 国際チェーン・ストア協会は、単一資本で [H] (1. 8 2. 11 3. 15) 店舗以上を直接経営する小売業、または飲食店のことを「チェーンストア」と定義している。
- IX. SPAのマーチャンダイジングにおいては、従来のアパレルメーカーの商品企画開発などの強みに加え、[I] (1. CMS 2. OEM 3. VMD) を構築できる機能も併せ持つ必要がある。
- X. 日本の繊維産業の中心は、[J] (1. 1950年代後半から1960年代前半 2. 1960年代後半から1970年代前半 3. 1970年代後半から1980年代前半) にかけて、繊維二次製品産業へと移行した。

問8 次のA～Iの記述に最も関係が深いものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字にマークしなさい。

- A. 1960年代の「家計調査」における、1世帯当たりの外衣類への支出が多い性別
(1. 男性 2. 同程度 3. 女性)
- B. 高齢化には様々な段階があるが、「高齢社会」を示す高齢者が総人口に占める割合
(1. 7～13% 2. 14～20% 3. 21%以上)
- C. 繊維ファッショング産業界のサプライチェーン・マネジメント(SCM)で全体最適を実現するための最重要課題であるテキスタイル産業からアパレル産業間に含まれない業種
(1. 紡績糸メーカー 2. 染色加工業 3. 商社)
- D. 1980年代に入って、消費者の嗜好を組み入れた提案
(1. プロダクトアウト 2. プロダクトイン 3. マーケットイン)
- E. 日本の繊維産業が輸入大国の道を歩むきっかけとなった、1972年の繊維輸出規制に関する協定のこと
(1. TPP協定 2. 日米繊維協定 3. 経済連携協定)
- F. 外国為替および外国貿易管理法の三国間貿易において、日本の本社が売買、代金決済の当事者になつて収入を得ること
(1. 仲介貿易 2. 中継貿易 3. 開発輸入)

G. 発展途上国からの輸入に関して、特別に低い関税にしたり、無税にしたりする制度のこと
(1. 国定関税 2. 協定関税 3. 特恵関税)

H. 小売企業が仕入れた商品に、その店なりのマージンなどを乗せて自由な売価を設定すること
(1. オープンプライス制 2. テリトリー制 3. オープンマーケット制)

I. 日本の産地における化合繊織物の生産や、撚糸、染色などの加工について多くみられる取引方法のこと
(1. 仲卸方式 2. 売買方式 3. 貨加工方式)

問9 次のA～Kの記述の下線部分について、①②の両方が正しい場合には『1』、①が正しく②が誤っている場合には『2』、①が誤っていて②が正しい場合には『3』、①②の両方が誤っている場合には『4』を解答記入欄にマークしなさい。

A. ①マーケティングの4Pとは、商品、価格、流通チャネル、プロモーションの4つの要素を組み合わせて、ターゲットにアプローチすることである。
②プライベートブランドとは、流通業（小売業・卸売業）が企画し、販売する商品をさす。

B. ①日本の製造・卸売・小売業全体の出荷・販売額に占める繊維産業のシェアは、1965年には15.9%と2ケタ台であったが、2016年には1ケタ台に低下した。
②繊維産業全体に占める小売業のシェアは、1965年には11.6%と2ケタ台であったが、2016年には1ケタ台に低下した。

C. ①バブル時代（1980年代後半～1990年代初頭）でも、繊維消費の伸び率が経済の実質成長率を上回ることはなかった。
②バブル時代以降、百貨店の売上高は前年を下回る年も多い。

D. ①2022年時点、衣料品の輸入先は中国が圧倒的である。数量より金額のシェアが低い理由は、輸入価格が全体平均より低いためである。
②2022年時点、EUからの輸入のシェアは金額で3%程度を確保されているが、その中でフランスが最大国である。

E. ①2020年に日本繊維産業連盟が「2030年にるべき繊維業界への提言」をとりまとめた。
②2022年に経済産業省が、産業構造審議会の繊維産業小委員会で「2030に向けた繊維産業の展望」（繊維ビジョン）をとりまとめた。

- F. ①1990年代後半にカジュアル系衣料が増加した背景には、環境省の主導で始まった「カジュアルフライデー」がある。
②2005年にカジュアル化促進の一因として考えられる「ノーネクタイ・ノージャケットキャンペーン」のクールビズは、メンズファッション業界のキャンペーンで主導された。
- G. ①アパレル業界でビッグデータの分析が必要なのは、食品や日用品などに比べ、購入頻度が低いためである。
②ICタグは、棚卸しや出入荷検品の業務で効果が出ているが、小売段階でもセルフレジで活用されている。
- H. ①商品を色、サイズ別にコード化することで製造管理単位とし、POS情報から、単品ベースでの売れ筋、死に筋の分析や、需要の予測が可能となる。
②繊維業界は、長いサプライチェーンを有しており、テキスタイル産業からアパレル産業間での取引の適正化が産業全体の競争力強化に寄与するものである。
- I. ①SPA や D to C というビジネスモデルは、長く業界や官庁で使用されている「川上・川中・川下」に明確に区分できる。
②ボランタリーチェーンは、任意連鎖店と訳される。
- J. ①OEM、ODM というアパレルの生産方式では、委託企業は発注者側の指定のブランド名にて生産を行う。
②日本国内の百貨店が行うアパレルの取引形態では、完全買取制が一般的である。
- K. ①アパレル生産企業は、協力工場型、受注加工型の二つに分かれる。
②アパレル産業は、アパレル生産企業とアパレル卸売業で構成されているが、生産・流通の主導権を握っているのはアパレル卸売業である。

問10 次のI～IVの記述の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

I. ほつれが起こりやすいのは、織物では太い糸で（ A ）織ったもの、交錯点の（ B ）組織の織物などである。編物では、（ C ）は一般にほつれやすく、（ D ）は、ほつれにくい。

[語群]

- 1. 密に 2. たて編物 3. 多い 4. しっかり 5. 細かく
- 6. 少ない 7. 粗く 8. よこ編物

II. 日本では、PETボトルの多くが回収され、ボトル to ボトルの（ E ）のほか、ペレットにして（ F ）紡糸し、衣料用にも再利用している。

[語群]

- 1. 湿式 2. リユース 3. リサイクル 4. 裁断 5. 分解 6. 溶融

III. 衣料用洗剤は「家庭用品品質表示法」が適用され、表示事項として品名、成分、（ G ）、用途、正味量、使用量の目安、使用上の注意が定められている。品名は、「洗濯用石けん」「洗濯用（ H ）」および「洗濯用合成洗剤」に区分して表示される。

[語群]

- 1. 浴比 2. 濃度 3. 液性 4. 混合石けん 5. 複合石けん
- 6. 金属石けん

IV. 2018年のIPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）総会で、気温上昇を（ I ）に抑える排出経路等が取りまとめられた。また、世界のCO₂排出量は（ J ）前後には正味ゼロを目指すことなども示されている。

[語群]

- 1. 1.5 °C 2. 2.0 °C 3. 2.5 °C 4. 2030年 5. 2040年
- 6. 2050年

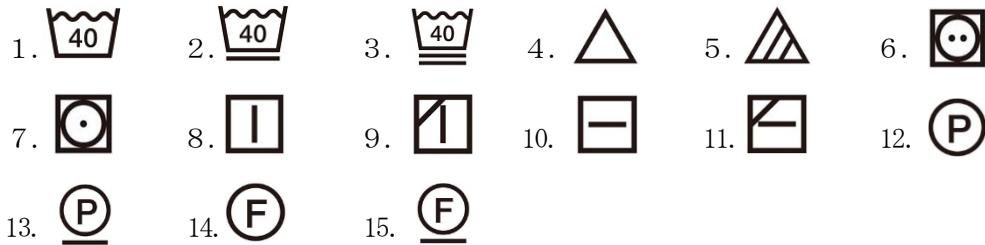
問11 次のA～Eの記述に最も関係が深いものを下記の記号群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

A. JIS L 0001洗濯処理の記号において、40 °Cを上限として、非常に弱い洗濯処理を示す記号

B. JIS L 0001漂白処理の記号において、塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理を示す記号

- C. JIS L 0001 乾燥処理の記号において、洗濯処理後のタンブル乾燥ができる、高温乾燥：排気温度の上限は最高 80°Cを示す記号
- D. JIS L 0001 乾燥処理の記号において、脱水後、日陰でのつり干し乾燥がよいを示す記号
- E. JIS L 0001 商業クリーニング処理の記号において、パークロロエチレン溶剤でのドライクリーニング処理ができる、弱い処理を示す記号

[記号群]



問12 次のA～Eの記述に最も関係が深いものを下記の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- A. 商品やサービスのライフサイクルで排出される温室効果ガスのCO₂換算での総質量
- B. 縫織維内部に侵入した皮脂汚れを除去し、衣類の白度低下を防止する効果がある酵素
- C. 化学物質の危険から人の健康と環境を保護する目的で、2007年に欧洲で発行された化学物質の規制
- D. 合成繊維を化学的に分解し、モノマーまで戻すリサイクル手法
- E. ドライクリーニングに用いられる揮発性溶剤で引火点が38 °C以上の溶剤

[語群]

1. セルラーゼ
2. アミラーゼ
3. カーボンオフセット
4. カーボンフットプリント
5. PRTR
6. REACH
7. 石油系溶剤
8. パークロロエチレン
9. ケミカルリサイクル
10. マテリアルリサイクル

問13 次のA～Dの記述で、衣料サイズおよび表示方法の体型区分表示に該当するものは『1』、単数表示に該当するものは『2』、範囲表示に該当するものは『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. フィット性をあまり必要としない衣類に適用する。
- B. 背広服およびコート類やドレス類、上衣類のうちフィット性を必要とする服種を対象としている。
- C. 成人男子用上衣類の呼び方90-5の基本身体寸法は、チェスト90、身長170である。
- D. 成人女性用の下衣類で、フィット性を必要とする衣類に適用する。

問14 次のA～Fの記述のうち、商業クリーニングの中でドライクリーニングに最も該当するものは『1』、ランドリーに最も該当するものは『2』、ウェットクリーニングに最も該当するものは『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. 洗浄だけ行うコールドマシンと洗浄から乾燥まで行うホットマシンがある。
- B. 対象となるものは、ワイシャツやシーツ、タオル、テーブルクロスなど、一般的に耐久性の高いものが多い。
- C. JIS L 0001 に定義された特殊な技術を用いた業者による繊維製品の水洗い処理
- D. アルカリ剤、漂白剤などを使用する高温洗浄による洗濯
- E. 油性の汚れには有効であるが、水溶性の汚れの除去は劣る。
- F. 洗濯物の収縮や風合い変化を避けることが優先され、一般に洗浄性が低い水洗い処理